令和4年度 学校自己評価システムシート 城西川越中学校

目指す学校像	校是「報恩感謝」の具現化と教育方針「心豊かな人間の育成」「個性・学力の伸長」の実現に向けた有意義な体験が展開されるよう、クラブ活動・学校行事・社会奉仕活動等の環境整備を図り、将来必要な人間性・人格の陶冶を目指す。生徒の進路実現に向けて、質の高い教科指導と学習意欲に応える授業を組織的に展開する。	達成度	A ほぼ達成（8割以上）	学校関係者評価委員 内訳 学識経験者 1名 学校関係者 18名 事務局（教職員） 4名 計 23名
重点目標	1. 学力向上と特別活動等を高い次元で両立する生徒の育成のための指導の充実 2. 人間性の陶冶を目指す指導の充実 3. 世界に目を向けた広い視野を持つ生徒を育成するための指導の充実		B 概ね達成（6割以上）	
		C 変化の兆し（4割以上）		
		D 不十分（4割未満）		

学校自己評価							学校関係者評価		
年度目標				年度評価（令和5年3月10日）			実施日 令和5年3月11日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	学校関係者からの意見・要望・評価等		
1	①教科での研究や教師各々の努力・工夫で授業改善を行っている。それを更に向上させる為、組織的な取り組みを継続的に推進する必要がある。 ②効率的な時間の管理を指導・支援し、集中力の向上や自学自習の習慣などの一層の定着を目指す。 ③家庭学習に取り組む余裕のない生徒が若干いる。	授業改善と自立した学習者を育成する取り組みをする。	①定期的な教科主任による会議を通じ情報交換を行い、それぞれの教科の授業に反映できるようにしている。 ②定期試験の結果や模試の成績等を分析し、個人面談を通して個々の生徒への具体的な働きかけを早い時期から行い、高い目標を持たせ、目標実現のために、意欲的に学習する態度を育成する。 ③内外の試験等の見直しに取り組み、意欲的に家庭学習を進めさせる。	①研究授業の反省や授業参観の感想にとどまらず、指導法の改善に生かせる話し合いが行われているか検証する。 ②大学の魅力や長所を理解し、自分の進路実現に向けて、意欲的に学習に取り組んでいるか検証する。 ③学力推移調査等を効果的に活用し、家庭学習の時間が十分確保されているか検証する。	①生徒アンケートの結果、授業に対する満足度は非常に高かった。（全ての科目で90%以上）研究授業を実施し、教員の指導技術を高めた。 ②学力推移調査・校外模試等を実施し、その分析会を通じ生徒の学力を把握し、指導に反映させた。 ③家庭学習の時間が確保できない生徒もおり、指導する必要がある。	A	①各教科でアンケート結果を分析し、充実した授業を目指し、組織的に計画的に授業改善に取り組めるよう教員研修の充実を図る。 ②進路実現に向け手厚い進路指導体制を構築し、組織的に継続・発展させる。また、大学に関する積極的な情報収集を促す。 ③目標を明確にさせ、その実現に向け、継続した指導を通し、自立した学習者の育成をめざす。	・学年が上がるにつれて授業満足度が上がっているのが素晴らしい。 ・30名以下の少人数クラスというのは、とても恵まれた教育環境である。 ・一人一台PCの状況を活かして、外部動画視聴や学習アプリの利用、オンラインライブ授業等をやってもらえたら良いと思う。	
2	①毎年生徒アンケートを通じて校則の理解等、具体的に判断できるようにしている。恒常的に新入生に対し本校の規則を浸透させる指導が必要である。 ②事象への対応には、各所の連絡を密にし、連携した対応ができるように心掛ける。 ③部・同好会への加入率は比較的高いが、文化部員の加入率がやや低い。運動部の成績の更なる向上を期待したい。	生徒指導の充実を図る。	①通学時の指導、SHR・LHRでの担任の話、授業等の機会を利用し、自己の責任や規則遵守の意義を理解させ、自分を律することの大切さを認識させる働きかけを行う。また、定期的な容儀検査と事後指導を実施する。 ②人権や心の教育への理解を深め、より有益な情報を収集し、実り多い研修会、講座、講演会等を企画する。 ③部・同好会において、練習内容を工夫し、短時間で効果のある集中した活動を行う。	①社会性が育まれ、生徒一人ひとりが自主的な行動ができ、また、基本的な生活習慣を確立させ、校則を遵守しているか検証する。 ②人権・心の教育に関する理解促進と人権講話や生き方講演会などを計画的に行っているか検証する。 ③部・同好会への加入率を調査し、各クラブの活動内容・成績・実績等を検証する。	①大きな問題なく経過している。生徒指導部を中心に全教員で指導している為、気持ち良い挨拶ができる生徒が多い。 ②全校集会や学年集会での講話において心の教育に関する理解を深めるとともに、進路についても更なる理解が深まった。 ③部・同好会への加入率は98%である。顧問が熱心に指導しており、一層の好成績を期待したい。	A	①登校時の指導・HR・授業等の機会を利用し、校是である「報恩感謝」を具現化させる働きかけを行う。 ②日常のあり方が日々変化している中、他者を尊重し自他の調和を図る心の教育を効果的に進めていく。 ③時間を効果的・効率的に使うことができる生徒の育成を目指す。工夫した練習内容で、なお一層の好成績を期待したい。	・毎日、楽しいと言って帰ってくる。先生方が熱心に見てくださっていることが、よくわかる。 ・先生方が顔や性格等を把握し、踏み込んで指導してくれているのが親としてとてもありがたい。 ・市内の中学校で朝練無しになり、生徒との関係の浅深が不安視されているところがあるが、本校は以前から朝練の無い学校でありながら生徒との関係がしっかりできている。	
3	①海外の人々との交流を深めるためには語学力が必須である。実用的な英語の力を最大限に伸ばす必要がある。 ②海外とのつながりに関する生徒の意識があまり高くない。生徒がより海外に目を向けるよう指導していくことが重要である。	国際化に向けた取り組みの充実を図る。	①ネイティブの教員による英会話の授業を実施し、コミュニケーションとしての英語を学ばせていく。 ②留学プログラムを用意している。より意識の高まる内容に改善していく。	①授業中のやり取りの他、英検等を通じて生徒の英語力を客観的に検証する。 ②留学プログラムへの参加状況やアンケートを通じて生徒の海外への関心意欲を検証する。	①ネイティブの教員による少人数での英会話の授業を行った結果、4技能の中で最も身につけていると思うものとして「リスニング」が9.7%増加した。 ②ホームステイは無理であったが、ホテルに宿泊する形で3年次のオーストラリア修学旅行が再開できた。 「将来、海外で仕事をしたい」と思っている・少し思っている生徒の割合が3年生で5.7%増加し過半数（51.3%）となった。	A	①「スピーキング」について、「最も身につけたいと思う」割合に対して「最も身についた」とする割合がまだ低い。効果的に英会話の授業を実施していく。 ②ホームステイを行う本来の形の海外研修を実現させ、現地の人との交流の機会が多い、より充実した留学プログラムを実施していく。	・生徒アンケートでも「学校行事の充実」が期待されている。来年度以降、再開されることを期待したい。 【第三者委員会(学識経験者)による評価】 ・少人数制教育の良さがアンケート結果に表れているのではないかと。学校に対する満足度、授業に対する満足度も非常に高く、素晴らしい。先生方の熱心な指導の成果ではないかと思う。	